

平成14年10月7日

各位

会社名 松田産業株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 松田 洋  
(コード番号 7456 東証第一部)  
問い合わせ先 取締役管理本部長 田代芳孝  
電話番号 03-5381-0001(代表)

### 平成15年3月期の中間・通期業績予想の修正について

平成14年5月13日の決算発表時に公表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日から平成15年3月31日)の中間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

—記—

#### 1. 連結業績予想

(1) 中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	42,500	1,430	720
今回修正(B)	42,500	400	180
増減額(B-A)	—	△1,030	△540
増減率	—	△72.0%	△75.0%
(ご参考) 前期中間実績(平成13年9月期)	41,465	1,955	856
前期増減率	2.5%	△79.5%	△79.0%

(2) 通期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	86,000	3,140	1,570
今回修正(B)	87,000	1,800	880
増減額(B-A)	1,000	△1,340	△690
増減率	1.2%	△42.7%	△43.9%
(ご参考) 前期実績(平成14年3月期)	82,859	2,968	1,172
前期増減率	5.0%	△39.4%	△24.9%

## 2. 個別業績予想

(1) 中間期 (平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	42,000	1,480	740
今 回 修 正 ( B )	42,000	540	250
増 減 額 ( B - A )	—	△ 940	△ 490
増 減 率	—	△ 63.5%	△ 66.2%
(ご参考) 前中間期実績(平成 13 年 9 月期)	41,032	2,068	952
前 期 増 減 率	2.4%	△ 73.9%	△ 73.7%

(2) 通期 (平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	85,000	3,240	1,620
今 回 修 正 ( B )	86,000	2,100	1,030
増 減 額 ( B - A )	1,000	△ 1,140	△ 590
増 減 率	1.2%	△ 35.2%	△ 36.4%
(ご参考) 前期実績(平成 14 年 3 月期)	82,021	3,135	1,311
前 期 増 減 率	4.9%	△ 33.0%	△ 21.4%

## 3. 修正理由

当中間決算の見通しにつきましては、売上高は前回予想を若干上回る予想ではありますが、利益面は前回予想を大きく下回る見通しとなりましたので業績予想を修正いたします。

また、通期業績につきましては、上期修正分に加えて下期業績を前回予想から見直しておりますので、合せて修正いたします。

### 【修正の要因】

- (1) 当中間期は、貴金属関連部門において電子部品スクラップ等のリサイクル原料の集荷不足による損益悪化に加え、相場下落の中で財務の健全化の観点から過剰なパナソニック製品在庫の処分を行ったこと等により収益が悪化いたしました。
- (2) また、食品部門においても昨年度の狂牛病問題の影響による品薄、相場高騰の中で調達手配を行った鶏肉(ブロイラー)が、一部業者の不正事件に伴う相場急落の影響を受けて、大幅な販売損失を計上したこと等により収益が悪化いたしました。
- (3) 下期におきましては、リサイクル原料の回収量も回復しつつあり、中間期の特定の損益悪化要因は既に解消していることから、ほぼ当初見込どおり、売上の伸びに見合った収益が計上できるものとみられます。

以 上